

パーソナルトレーナーコース

3つのポリシー

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

パーソナルトレーナーコースでは、健康と感動を人々に与える人材を育成することを目指します。そのため、以下の資質と能力を身につけ、所定の単位を修得した者に卒業を認めます。

1. 心と技能の調和の取れたパーソナルトレーナーとして、即戦力となり得る専門的知識と技術を活用して社会貢献していける能力。
2. パーソナルトレーニング施設やフィットネス施設で働くために必要なコミュニケーション能力を有し、「誰に対しても気配り・目配り・心配りができる」温かい心を持った人間力。
3. 専門的かつ包括的な知識を備え、1対1での指導だけでなく、グループトレーニングも実施できるトレーナーとして、多種多様な目的を達成できる知識と実践力。

<卒業の認定>

本コースの修業年限の2年以上にわたって在学し、下記に定める授業時間数以上を履修した上で、該当する所定の授業科目及び単位数を修得し、卒業審査に合格した者に対して校長が卒業を認定します。また、本コースは修了者に対し「専門士」の称号を付与します。

授業時間数：1,700 時間以上

所定の単位数：114 単位以上

卒業審査にあたっては、次に掲げる2項目に基づき、コース長が判定します。

1. 履修時間の出席率

全科目総授業時数の80%以上の出席率があること

2. 授業科目ごとの学業成績

開設・選択された全科目において学年末評価が 60 点以上であること

なお、卒業の認定は、最終学年の終わりに行います。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

パーソナルトレーナーコースでは、学位授与に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に基づき、次の方針のもとに教育課程を編成し実施します。

1 年前期：パーソナルトレーナーとしての基礎を学びます。パーソナルトレーナーの理論や実践だけでなく、成人の体力向上から高齢者の疾病予防や児童・学童の発育発達にともなうトレーニングの知識も深めます。

1 年後期：パーソナルトレーナーの学びを軸として、将来的に独立起業の活動もできるような学びも含め、他の分野(専攻)の資格にもチャレンジできるカリキュラムとします。また、この期に 80 時間以上の学外実習を課し、パーソナルトレーナー分野の職業理解と現場適応力、コミュニケーション能力を養います。

2 年通期：パーソナルトレーナーとしての高度な実践力と専門的知識だけでなく、パーソナルトレーナー特有の働き方である独立起業の基礎理論を養います。学内実習は履正社独自のカリキュラムとなっており、パーソナルトレーナー学内実践というカリキュラムを準備し、在学中にパーソナルトレーナーとしてデビューし実践力を養います。資格においても本校の独自性があり、各資格対策授業は少人数編成で実施します。

入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

パーソナルトレーナーコースでは教育理念および教育目標に基づき、次のような能力や意欲、適正を備えた入学者を求めます。

1. 本コースの教育目標である「健康と感動を人々に与える人材育成」を理解し受け容れることのできる入学者を希望します。

2. 誰もが心身ともに健康であることを望み、地域スポーツの普及、発展に寄与する思いのある入学者を希望します。
3. 「身体を変えたい」「健康でありたい」と望む顧客に求められる人材になるという意思がある入学者を希望します。